

看護師特定行為研修センター

当センターは、今年度4月、袖ヶ浦さつき台病院の中に看護師特定行為研修センターとして開講しました。現在、精神分野3名のエキスパートが、通信制で受講しています。まず、共通科目の受講から始め、1か月1科目の計画で進めており5月に2科目を修了しました。受講生は規定以上の時間を学習にあて取り組んでいます。今回は、開講後の現状です。今後も2ヶ月毎にお知らせいたしますので、ご覧になって興味のある方は、ぜひ次年度にトライしてみたいと思いますので、

センター長 菊池周一 研修実施責任者 栗原サキ子

科目の進捗状況

共通科目	臨床病態生理学	通信：43.5時間 演習：30分 筆記試験：1時間 計45時間	受講生の通信学習の平均時間：76時間 必要な時間数：45時間 試験の平均点：71.5点/100
	臨床推論	通信：40.5時間 演習：2.5時間 実習：1時間 筆記試験：1時間 計45時間	受講生の通信学習の平均時間：76時間 必要な時間数：45時間 試験の平均点：70点/100

演習風景 5/28 臨床推論 指導者(医師)・(特定看護師)



受講生 東海林 今回このような研修を受講する機会を得、看護師と医師の思考の違いに戸惑いながらも、一つ一つ課題を楽しみながら取り組んでいます。現場との両立が大変ではありますが、学んだことをすぐに生かせる環境にすることで、専門性が高まっていることを実感しやる気のアップに繋がっています。指導者はじめ、多くのスタッフの心温まる支援に感謝しながら、チーム医療のキーパーソンを目指します。

指導者 鈴木医師

「研修生達の頑張りには本当に頭が下がる思いです。眠っていた能力やエネルギーの覚醒を感じます。私自身も負担に感じるよりも、新しいことを発見する喜びの方がずっとずっと大きいです」。